

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2019年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第13回講義

各国の宇宙政策の動向と我が国の課題

北海道大学大学院公共政策連携研究部・教授

鈴木 一人 氏

鈴木先生からのメッセージ

宇宙開発は米ソ冷戦の中で飛躍的に発展したが、冷戦後は宇宙開発が商業化する一方で、安全保障の重要な基盤にもなっています。日本も2008年には宇宙基本法を策定し、新たな宇宙開発の目標に向かっていくこととなりました。このように、宇宙開発は時代の流れや政治的な動きに翻弄され、またスプートニクショックやガガーリンショックなど、世界の政治を動かしてきた側面もあります。

この講義では、宇宙開発が単に技術的な側面や、宇宙システムを用いた新しい未来を作るという側面だけでなく、国際政治経済に与えた様々な影響と現状、そして我が国の課題について議論したいと思います。

日時:

2019年7月26日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所:

工学研究院

オープンホール

[B-201]

鈴木一人先生

長野県上田市出身。

2001年サセックス大学ヨーロッパ研究所博士課程修了、2000年、筑波大学・社会科学系・専任講師に就任。同大学院・人文社会科学研究科・准教授、北海道大学大学院公共政策連携研究部・准教授等をご歴任され、2011年4月より現職。2013年から2015年まで国連イラン制裁パネル専門家、現在宇宙政策委員会臨時委員も兼務。

担当:工学系教育研究センター 矢久保考介教授
内線:7163 Mail: ceed-ind@eng.hokudai.ac.jp